企業・団体における人材開発に関心のある皆さまへ



厚生労働省認定 職業能力検定について

新たに「団体等検定制度」を創設しました!





従来の社内検定認定制度は、個々の企業や団体が、そこで働く労働 者を対象に実施する社内検定のうち、一定の基準を満たすものを 厚生労働大臣が認定する制度です。一方、団体等検定制度は、雇用 する労働者以外の方(求職者、学生、フリーランス等)も受検対象者 となるものです。当制度を人材開発のためにご活用ください。



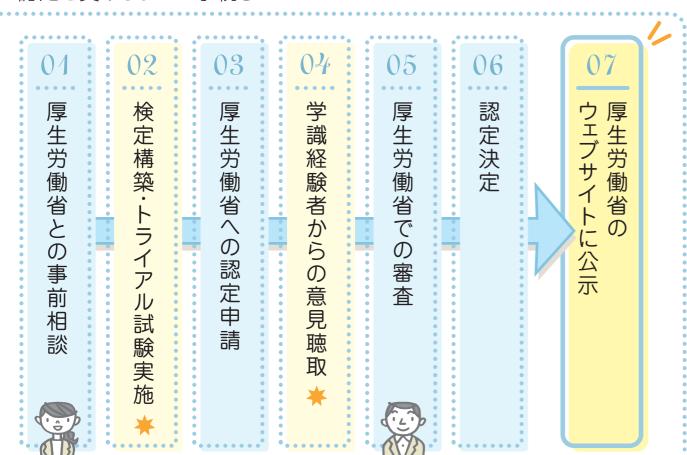
職業能力評価制度の概要

NEW

		技能検定	団体等検定	認定社内検定
• • • • • • • • • •	概要	厚生労働大臣が、労働者 の技能を検定し、これを 公証する制度(_{技能士})	要件を満たす民間検定を 厚生労働大臣が認定※ ※検定の枠組みを認定 (国家資格ではない)	要件を満たす社内検定を 厚生労働大臣が認定※ ※検定の枠組みを認定 (国家資格ではない)
• • • • •	実施機関	都道府県又は民間団体	民間団体・個別企業	民間団体・個別企業
	対象技能	・全国的に業界標準が 確立された技能 ・一定数の受検者が 見込める職種 (概ね年間1000人以上)	地場産業、成長分野など 業界標準が確立していな い技能も対象	個別企業、団体において 先進的・特有の技能
	対象者	実施機関の雇用労働者 以外も対象	実施機関の雇用労働者 以外も対象	実施機関の雇用労働者 のみが対象

評価方法

- ・学科試験+実技試験により評価
- ・労働者のスキル向上を促すため、原則として複数等級



▶ 社内検定の認定を受けている場合、上記手続きの一部を省略できる場合があります

令和7年4月1日指定分から、団体等検定の合格を目標とする講座のうち、指定基準を 満たす場合は、厚生労働大臣が指定する教育訓練給付制度の指定対象講座(※)として 認められます。

職業能力検定(団体等検定制度・社内検定認定制度)に関するお問い合わせ

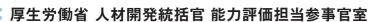
- 新たに団体等検定・社内検定の認定を目指す企業・業界団体等の方
- ●団体等検定・社内検定の認定要件を確認したい方
- ●具体的な団体等検定・社内検定の手続きの流れを確認したい方 など、団体等検定・社内検定の 構築支援等を希望する際のお問い合わせ先

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会(厚生労働省委託事業受託者)

電話:03-3353-4641/E-mail:post@kanka.or.jp

受付時間:9:00~17:00(12:00~13:00、土·日·祝日は除く)

●職業能力検定(団体等検定・社内検定)制度全般のお問い合わせ先



電話: 03-5253-1111(内線 5945, 5976)/

E-mail: shanaikentei@mhlw.go.jp



詳細はこちらから

(団体が実施する場合には会員

技能の見える化・ 標準化



従業員の モチベーション アップ



知識や技能・ 技術の向上



が若手従業員の定着 新入社員の採用



権威づけ

技能評価への



日、導入企業・団体の声

自己流で行っていた技能を標準化でき、どの店舗でも 同じできばえの商品を提供できるようになった。

●小売業



技能の標準化によりベテランの暗黙知であった 技能が基準として明文化された。

金属加丁機械製造業

全体の中での業務の位置づけが分かり、 キャリア構築の一つの目安になる。

受検や講習会などを通じて継続的な勉強の 場ができ、従業員のモチベーションが向上した。

• ビルメンテナンス業

受検を通して得た技能や知識から基本を再認識でき、 商談の進め方に幅が出てきた。

自動車卸売業

関係者全員が連携して、スキル向上の体制づくりを 強化したことで技術習得効果が高まった。

各職場の熟練者が真剣に練習に打ち込む姿を毎日 見るうちに、キャリアプランの重要な取り組みに 位置付ける従業員が出てきた。

• 輸送用機械器具製造業

目指すべき姿が明確となり、目標を持って 働けるきっかけとなっている。



厚生労働省から認定されたことにより、安易な修正は できなくなり、権威のある持続的な制度として運用できる。

輸送用機械器具製造業

検定合格者のみがチャレンジできる研修や 専門コースも設けており、新たな学びの機会を得るために 目標の一つとなっている。

●小売業

6 有資格者の 実績への寄与



■導入企業・団体の声

有資格者は総じて売上、接客数、お客様 1 人当たりの 販売個数など高い傾向も見られる。

▶ 小売業

販売促進においても資格保有者は顕著な実績を 示しており、受検で得た知識や技能が評価され、安心して 商品を買っていただけることにつながっている。

● 小売業

顧客の評価

顧客との信頼関係を築くきっかけになり、 売上にも貢献している。



認定を受けたことを顧客に PR することにより、 食品安全に取り組んでいる企業や病院から一定の評価を 受けるようになってきた。

品質の信頼性をアピールする材料にもなっている。

ビルメンテナンス業

業界内での 地位向上·差異化



独自の資格が乱立している業界の中で、 厚生労働省認定という大きな差別化を図ることができ、 メリットを感じている。

地域産業振興に 有献

組合に属する企業間の連携醸成にもつながっており、 地域活性化のために取り組むという意識が徹底されている。

● 繊維製品製造業 ✓



?

人材育成と産業振興が相まって、商品の付加価値が 高まっており地域振興に寄与するブランディングに 成功することができた。

広報効果· 企業ブランドの向上

1級取得者はワッペンをつけたり、認定証を 飾ったりして積極的に PR している。



• 自動車製造業



バッジや名刺により技術のある従業員が接していることが 伝わり、顧客の安心感、信頼感の向上につながっている。